

(様式 1-3)

釜石市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

令和元年 6 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	59	事業名	道路事業 (鵜住居)	事業番号	D-1-8
交付団体	市	事業実施主体 (直接/間接)	市		
総交付対象事業費	1,611,180 (千円)	全体事業費	1,611,180 (千円)		
事業概要					
●対象地区の事業概要					
【鵜住居 2 号線】鵜住居地区					
道路改良 L=3.14km (内橋梁 無、トンネル 無)、W=9.5m					
総事業費 : 3,300,000 千円 (No. 59 : 1,611,180 千円、No. 139 : 1,688,820 千円)					
事業期間 : H24~H31					
津波により壊滅的な被害を受けた鵜住居地区と箱崎半島部の既存市街地相互を連絡する幹線道路である一級市道鵜住居 2 号線の道路整備を行う。					
一級市道鵜住居 2 号線は、鵜住居地区と箱崎半島部の集落 (鵜根浜・箱崎・箱崎白浜・仮宿地区 4 地区) を連絡する主要道路であり、漁業を中心とした産業活動に必要な道路であるとともに、バス路線や通学路等、生活を支える重要な道路となっている。					
今回整備区間は、海岸沿いの浸水地を通過しているが、防潮堤の整備予定はなく、他に代替ルートもないことから、内陸部のルートに変更し、根浜地区内においては 3.11 規模の津波に対して浸水しない高さで計画し、防災集団移転促進事業と一体となって沿道土地利用の向上に寄与するものである。					
●復興まちづくり基本計画における該当箇所及び概要					
基本目標 1	暮らしの安全と環境を重視したまちづくり 地震が発生したら高台へ逃げることを大原則に、避難路、避難場所、避難施設の整備とネットワーク化を進める。また、防災意識を維持するため、防災教育をはじめとする自助・共助のもとでの避難体制づくりを進める。				
スクラム 7	三陸交通ネットワークの形成 未整備区間の早期整備や鉄道の早期復旧・開通に取り組む。また、生活圏に合わせた地域生活道路整備に伴い産業活動や物流の活性化につなげるとともに、生活機能の向上や災害に強い交通ネットワーク形成を推進する。				
当面の事業概要					
<平成 24 年度>					
道路築造工事、設計業務委託を行う。					
執行額 : 38,115 千円					
<平成 25 年度>					
道路築造工事、設計業務委託を行う。					
執行額 : 290,390 千円					
<平成 26 年度>					
道路築造工事を行う。					
執行額 : 680,754 千円					

<平成 27 年度>

道路築造工事、事業認定・収用手続き、埋蔵文化財調査を行う。

執行額：76,302 千円

<平成 28 年度>

道路築造工事、事業認定・収用手続き、埋蔵文化財調査、修正設計業務委託を行う。

執行額：480,561 千円

<平成 29 年度>

道路築造工事、修正設計業務委託を行う。

執行額：33,016 千円

<平成 30 年度>

道路築造工事、修正設計業務委託を行う。

執行額：0 千円

<平成 31 年度>

道路付帯工事を行う。

執行予定額：12,042 千円

東日本大震災の被害との関係

【一級市道鶴住居 2 号線】

津波で被災し、道路の浸水により通行不可となった。そのため 4 地区は孤立し、自衛隊のヘリコプターによる救助が行われた。箱崎半島は県内有数の景勝地、観光資源を持つ。地区住民の生活再建・復興と同時に、三陸釜石の重要な観光拠点として今後、沿岸地区の賑わいと再興を期待する地域である。そのため、地区住民および観光客に対して安全性を高めるために行う事業である。

関連する災害復旧事業の概要

・鶴住居 2 号線道路災害応急本工事（H23. 6. 27～H23. 11. 25）L=180m：袋詰玉石工、捨石工

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業

事業番号	
事業名	
交付団体	

基幹事業との関連性

--

(様式 1-3)

釜石市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

令和元年 6 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	139	事業名	道路事業（鵜住居）[補助率変更分]	事業番号	D-1-8
交付団体	市		事業実施主体（直接/間接）	市	
総交付対象事業費	1,688,820（千円）		全体事業費	1,688,820（千円）	
事業概要					
●対象地区の事業概要					
【鵜住居 2 号線】鵜住居地区					
道路改良 L=3.14km（内橋梁 無、トンネル 無）、W=9.5m					
総事業費：3,300,000 千円（No. 59：1,611,180 千円、No. 139：1,688,820 千円）					
事業期間：H26～H31					
津波により壊滅的な被害を受けた鵜住居地区と箱崎半島部の既存市街地相互を連絡する幹線道路である一級市道鵜住居 2 号線の道路整備を行う。					
一級市道鵜住居 2 号線は、鵜住居地区と箱崎半島部の集落（鵜根浜・箱崎・箱崎白浜・仮宿地区 4 地区）を連絡する主要道路であり、漁業を中心とした産業活動に必要な不可欠な道路であるとともに、バス路線や通学路等、生活を支える重要な道路となっている。					
今回整備区間は、海岸沿いの浸水地を通過しているが、防潮堤の整備予定はなく、他に代替ルートもないことから、内陸部のルートに変更し、根浜地区内においては 3.11 規模の津波に対して浸水しない高さで計画し、防災集団移転促進事業と一体となって沿道土地利用の向上に寄与するものである。					
●復興まちづくり基本計画における該当箇所及び概要					
基本目標 1	暮らしの安全と環境を重視したまちづくり 地震が発生したら高台へ逃げることを大原則に、避難路、避難場所、避難施設の整備とネットワーク化を進める。また、防災意識を維持するため、防災教育をはじめとする自助・共助のもとでの避難体制づくりを進める。				
スクラム 7	三陸交通ネットワークの形成 未整備区間の早期整備や鉄道の早期復旧・開通に取り組む。また、生活圏に合わせた地域生活道路整備に伴い産業活動や物流の活性化につなげるとともに、生活機能の向上や災害に強い交通ネットワーク形成を推進する。				
当面の事業概要					
<平成 26 年度>					
道路築造工事を行う。					
執行額：320,270 千円					
<平成 27 年度>					
道路築造工事、事業認定・収用手続き、埋蔵文化財調査を行う。					
執行額：117,957 千円					
<平成 28 年度>					
道路築造工事、事業認定・収用手続き、埋蔵文化財調査、修正設計業務委託を行う。					
執行額：356,479 千円					

<平成 29 年度>

道路築造工事、修正設計業務委託を行う。

執行額：587,825 千円

<平成 30 年度>

道路築造工事、修正設計業務委託を行う。

執行額：232,094 千円

<平成 31 年度>

道路付帯工事を行う。

執行予定額：74,195 千円

東日本大震災の被害との関係

【一級市道鵜住居 2 号線】

津波で被災し、道路の浸水により通行不可となった。そのため 4 地区は孤立し、自衛隊のヘリコプターによる救助が行われた。箱崎半島は県内有数の景勝地、観光資源を持つ。地区住民の生活再建・復興と同時に、三陸釜石の重要な観光拠点として今後、沿岸地区の賑わいと再興を期待する地域である。そのため、地区住民および観光客に対して安全性を高めるために行う事業である。

関連する災害復旧事業の概要

・鵜住居 2 号線道路災害応急本工事 (H23. 6. 27~H23. 11. 25) L=180m : 袋詰玉石工、捨石工

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業

事業番号	
事業名	
交付団体	

基幹事業との関連性

--